

komuna organo de KANSAJA LIGO de ESPERANTO-GRUPOJ KIUŜUA ESPERANTO-LIGO, ESPERANTO-LIGO de TYŬOGOKU kaj SIKOKU

# La Movado

komuna organo de KANSAJA LIGO de ESPERANTO-GRUPOJ KIUŜUA ESPERANTO-LIGO, ESPERANTO-LIGO de TYŬOGOKU kaj SIKOKU

## Fondita en 1951 N-ro 870 aŭgusto 2023

komuna organo de:

KANSAJA LIGO de ESPERANTO-GRUPOJ  
Sone-higasi 1-11-46-204, Toyonaka-si, Ōsaka-hu, 561-0802

KIUŜUA ESPERANTO-LIGO  
2-190, Sisaido, Tarami-tyô, Isahaya-si, Nagasaki, 859-0407,  
MORIWAKI Yasumasa

ESPERANTO-LIGO de TYŬOGOKU kaj SIKOKU  
Sinhamatyo 2-4-18, Marugame-si, Kagawa-ken, 763-0063,  
KOSAKA Kiyoyuki

### ENHAVO

歴史と文化の町姫路で 第71回関西エスペラント大会開かれる ..... 1-2

第95回九州エスペラント大会、成功裏に ..... 2

楽しい作文教室(144) ..... 塚本 猛 3

連載:高齢者の... 3) 高齢者の輪読の壁は? ..... 佐野 寛 4

Rakontetoj el Hamburgo: Fino de Atomenergioj en Germanio ..... Mariko AOSHIMA 5

対訳:源氏物語 第54帖 夢浮橋(2) ..... 紫式部/belmonto 6-7

Kajero Libervola: Ĉina esperantisto vizitis Japanion (2) ..... TAKEMORI Hirotoŝi 8

第110回日本エスペラント大会 La dua Informilo ..... 9-12

KLEG 賞受賞: KLEG 事務局員の10年間 ..... 大西 真一 13

KLEG 奨学金: 日本エスペラント図書刊行会を担当して ..... 染川 隆俊 13

夢十夜(8) ..... 夏目 漱石 / 沖 恵明 14-15

楽譜: デカンシヨ節 Dekanŝo ..... 丹波篠山民謡 / 島谷 剛 15

中四国エスペラント大会 2023 は 10月1日 ..... 16

La Movado: EPA100周年、来年の関西大会ほか ..... 17

Kultura heredaĵo: 小倉百人一首(右近) ..... 17

計報: 木村英二さん、中道光子さん ..... 17

Vortkruca enigmo / 作文教室成績 ..... 18

Mikspoto / 作文教室課題 / KLEG事務局だより ..... 19

編集ノート ..... 20

### 歴史と文化の町 姫路で

## 第71回関西エスペラント大会 開かれる

6月3日(土)4日(日)の両日、兵庫県姫路市の「イーグレひめじ」で第71回関西エスペラント大会が開かれ、166人(不在参加を含む)が参加した。第62回大会と同じ、姫路城を目の前に望む会場で、「歴史と文化のまち姫路でつむぐエスペラントの思い!」をテーマに、さまざまなプログラムが実施された。

### 開会式

開会宣言に続き、物故者への黙祷、塚本猛大会実行委員長のあいさつがあった。次に登場したのは姫

路市長の清元秀泰さん。イギリスのコンウエイ城と姫路城が2019年に姉妹城となったとき、当地の市長でエスペランチストのビル・チャップマンさんが姫路を訪れたことや、ウクライナのゼレンスキー大統領夫人からの手紙のことなど、一般的な「あいさつ」を越えた具体的な話だった。

韓国からの参加者 Ho Song さんのあいさつ、日本エスペラント協会会長北川郁子さんのビデオメッセージ、他連盟のあいさつと続き、関西エスペラント連盟の加盟団体代表各代表が舞台上に立ち、あいさつ



実行委員会の不手際により大会記念品送付漏れがありました。申し訳ありませんが別途送付致します。(大会実行委員会)

## 第95回九州エスペラント大会、成功裏に

第95回九州エスペラント大会が、5月20日(土)21日(日)に長崎商工会議所で行われた。参加者は39人(実参加16人、不在参加23人)。去年はZoomによる完全リモートの大会だったが、新型コロナの流行が少しおちつき、実際に集まって大会を開催することができた。

主要なプログラムは3つの講演。永瀬義勝さん「名古屋エスペラントセンターと特徴的な図書館について」、ドイヒロカズさん「博物館設立の目的と現状、あなたの蔵書を次の時代に伝える博物館の役割について」、庄山美喜子さん、田端眞理子さん、中山久仁



子さん「熊本エスペラント会誕生から100周年記念祭実施について」。

最後に九州連盟の活動と熊本での次期開催を確認し、解散した。

を行った。La Espero 斉唱で開会式が終了した。

### 公開番組

一般市民対象の入門講座が開かれ、松田洋子さんが指導した。全くの初心者はいなかったので、講師の機転で直接法に切り替えての学習となった。

「講演とコンサート」では、能楽師の江崎欽次郎さんによる講演「芸術・文化はこころを添え当てる」が行われた。能で使われる楽器や小道具の実物をひとつひとつ見せたり、スクリーンに映像を映したりしながら、能楽師の修行のことや演目「高砂」のストーリーをわかりやすく語った。

続いて地元のバンド「なんちゃんず」の演奏。なんちゃん、あおちゃん、まあの3人が、日本語とエスペラントで「星の世界」「分水嶺を越えて」など8曲を歌った。歌のあいまにあおちゃんのコントもはさまり、聞き手を楽しませた。

### エスペラント講演

永瀬義勝さんが「Ĉe la 50-jariĝo de PVZ (ザメンホフ全集発刊50年によせて)」のテーマで、エスペラントで講演。Iudovikitoの筆名で知られるいとうかんじさんが編集した60巻におよぶザメンホフ全集のことを語った。いとうさんと藤本達生さんの出会い、ガストン・バランギャンやウルリッヒ・リンスとの交流などが語られ、いとうさんはMizantropo(世捨て人)を自称していたが、実は豊かな人脈を築いていたことがよくわかった。

### 分科会・分散会

大会実行委員会が企画した番組と、参加者から申し出があった番組を合わせて全部で12の分科会が  
2023.08

行われた。

1日目には「ミニ大学」、「地方におけるエスペラント運動とは何か」、「九条の会」、「科学者・医学者分科会」、「作文教室」、「大本」、「みんなで歌おう」、2日目には「電気紙芝居とクイズ」、「エスペラント会話」、「発音、どうしましょう」、「クイズで知ろう正しい情報『エロシエンコ』」が行われた。「エスペラント会話」にはHo Songさんも出席して手伝った。

同じ時間帯に多数の番組が行われていて、人数が多い番組と少ない番組ができてしまった

### Gaja Vespero

恒例のGaja Vesperoは、盛りだくさんの内容となった。小野節子さんと吉井滋子さんによる二重唱、極楽亭たんぼさんの古典落語「天失気(てんしき)」、島谷剛さん・岩田好兼さん・森均さんの狂言「花子(はなご)」、田淵八洲雄さんによる歌にくわえて短歌の詠唱、成田和子さんの日本舞踊「お梶」。技術も衣装も本格的なものもあり、参加者は楽しんだ。

### 閉会式

関西エスペラント連盟の旗がはりまエスペラント会の稲田正昭会長から、次期開催地京都エスペラント会の笹沼一弘会長に手渡された。

### 遠足

地元のボランティアガイドの案内で、15人が姫路城を見学した。

### 記念品

Vilmos Benczik 著「Studoj pri la Esperanta Literaturo」に加えて、緑の星をあしらったキーホルダーが配られた。



①どちらにも利点と欠点がある。

【訳例1】 Ambaŭ havas avantaĝojn kaj malavantaĝojn. (Drako, Celejo, ikona)

【訳例2】 Ambaŭ havas avantaĝon kaj malavantaĝon. (yosie, Ivajo)

【訳例3】 Ĉiu opinio el la du grupoj havas avantaĝon kaj malavantaĝon. (Lumo)

「どちらにも」は *ambaŭ* (双方の) や *ĉiu* (それぞれの) が考えられます。「利点」は *avantaĝo* (利点)、「欠点」には *malavantaĝo* (欠点) が使えます。 *difekto* も考えられますが、これは望ましくない点と言うより「損傷、欠陥」に対応します。

訳例1、訳例2のように *ambaŭ* だけを使ってもいいのですが、訳例3のように *opinio*(意見)を補って *ambaŭ opinioj* とする方が分かりやすいと思います。訳例3は *ambaŭ* の持つ「全体としての二つ」という意味に配慮して、*ĉiu opinio* (各々の意見)と表現しています。

②意見が対立し村を二分する論争になった。

【訳例1】 Opinioj konfliktigis kaj iĝis disputo kiu dividis la vilaĝon en du. (Celejo, ikona)

【訳例2】 Opinio de la du grupoj estas malsama unu de la alia. Tio rezultigis intensan disputadon inter ili en la vilaĝo. (Lumo)

【参考例】 La konflikto de opinioj kaŭzis disputon, kiu duonigis la vilaĝon.

「意見の対立」には *konflikto* (対立、争い) や *malkonsento* (意見の不一致) などが考えられます。「論争」は *disputo* (論争) が使えます。

訳例1は原文に沿った形の訳文ですが少し複雑な構成になっているようです。訳例2は2つの文に分けて、意見の違いで激しい論争になったと表現しています。どちらの訳例も *opinio(j)* を主語にした文で始めていて原文の主語を重視したようです。

参考例は ChatGPT をエスペラントで使ってみて得た訳文で、「意見の対立が村を半分にする論争を引き起こした」という表現になっています。従属文は *duonigi ion* (半分にする) より *disigi en du* (二つに分ける) を使う方が良さそうです。

③どちらも譲らずなかなか決着がつかない。

【訳例1】 Neniu el ili koncedis kaj estis malfacile atingi interkonsenton. (綴り修正: Drako) 解説

【訳例2】 Ambaŭ ne cedis kaj oni ne povis atingi konkludon. (綴り修正: yosie) 解説

【参考例】 Neniu flanko volis cedi, kaj la solvo estis malfacile trovebla.

「どちらも譲らず」には *neniu* 「だれも～しない」を使うことが考えられます。「譲る」は *cedi* (譲歩する、折れる) が使えます。

訳例1は *neniu el ili* なので2者とは限りません。また *koncedi ion* は「ためらった後で何かの可能性を認める」という意味です。両立できない意見の対立の場合 *cedi* (折れる) の方がいいと思います。

訳例2の *ambaŭ* は *ĉiuj du* (両者) という意味で使えますと思いますが、*kaj* の後の *oni* は *ili* ではないでしょうか。「結論に到達しない」のは不特定ではなく論争中の2つのグループだと思います。

参考例として *neniu flanko* (どちらの側も～しない) を使った ChatGPT の訳例を出しています。

④多数派は編入の採決を強行しようとした。

【訳例1】 La majoritato provis trudi la voĉdonan decidon pri la fuzio. (Celejo)

【訳例2】 La plimulto intencis interrompi la diskutadon kaj tuj decidi, ke la vilaĝo estu aneksita per voĉdonado. (yosie)

【参考例】 La plimulto provis trudi la voĉdonon pri aneksiĝo.

「多数派」は *plimulto* (多数派、この場合の「編入」には *aneksi ion* (領土を併合する、付加する) や *fuzio* (融合、合併) が考えられます。

訳例1は「多数派」に *majoritato* を、「強行する」は *trudi ion* (強いる) を使っています。「編入」ですが、村を市に「編入」するので、*aneksi* の方がはっきりすると思います。自分たちの「村」が消えてしまうことも反対理由になるでしょう。

訳例2は「議論を打ち切って直ちに決定しようとした」という表現です。「強行」は使っていませんが、内容はそういうことですね。

参考例のように、ChatGPT は文脈を明示して、文法や単語の誤用に気を配れば有用なようです。

成績は p.18 新しい課題は p.19

連載：高齢者の…

### 3) 高齢者の輪読の壁は？

佐野寛（大阪府）

輪読は、中級の例会に最も多く使われる手法です。しかし、高齢者が輪読の輪に入るにはいろいろと障害が発生します。いわく、訳すのが遅い；エスペラント単語力の低下も目立つ；予習があまり有効でない（記憶より忘却の速度が速い）；今輪読した分の位置を見失う；一体、やる気があるんかいな……

いくつかの処方箋を、描いてみます。

#### <単語の忘却は克服できる>

高齢になれば単語記憶力の減退はやむを得ない。辞書（細字で読み難い）を引くのが難しくなると輪読例会から引退、が昔の相場でした。だが近年、登場した電子辞書は、瞬時に・拡大文字または音声で出力することを可能にしました。高齢者にも希望をもたらしました。学習必須単語数（中級：約1500語）とかいって悩ましたのも、やがて過去の伝説になるでしょう。

#### <落とし穴：どこまで読んだか、迷子に>

輪読の最中に、ちょっと視線を外すと、エスペラント文の位置を見失ってしまい、どこまで読んだか行方不明になり戻れない。探す時間を浪費、読書速度の低下は悲惨です。「えーと、どこまで読んだかね？」と他人に尋ねる。結局、前の段落から読み直す始末。この「迷子現象」は高齢者には珍しくない。

これは語学力に関係なく、短期記憶力の衰えにより起きます。視力低下がそれに追い打ちをかけます。

健忘症は老化の象徴です。短期記憶装置は、大脳の海馬にあり、幼年期から一貫して衰えていき、測定もし易いので病院では「物忘れ外来」で老化の進行を容易に検定できます。

輪読で高齢者の最初に遭遇する困難は、文法・単語力・語学教養とか高尚な話ではなく、迷子とその復元問題にあります。

#### <迷子防止用に、動詞に赤線を>

迷子防止には読書中のエスペラント文にしるしを付けたい。だが、移動する視線を追って迷子札を移動するのは無理です。そこで、筆者がエスペラント

文構造を学習用に提案している品詞着色法（注1）を転用して好結果を得ていますので、ここに紹介します。

（注1）佐野寛：「品詞色付けによる入門教科書」

『JEI研究発表会要旨集』p.3, 2022年

これは、エスペラント文の中の動詞、形容詞、副詞などに赤、青、緑など特定着色により、文法用語を使わず、エスペラント文構造を可視化する教育論です。だが、少々複雑過ぎる。

実際には高齢者の負担回避を重視して、文の中で最も重要な品詞（＝動詞）のみを赤く指定します。さいわい、エスペラントでは動詞を文中から見つけるのは楽です。語尾（-as、-is、os、…）を判別するだけです。さらに赤字印刷の代わりに、利用者が赤線下付き（または赤蛍光ペンで上塗り）で美しく自作できます。

こうなると文は、絵のように赤い動詞を軸に起伏ができて、一文が全部まとまって視野に飛び込んできます。一度、視線がさ迷っても赤動詞でピン留めされたかのように復帰し易くなります。

「動詞が目立つ」効用は、読み位置を見失う不安からの解放メリットだけに留まらない。読解にも大きく貢献します。

#### <エスペラント語学習得へのメリット>

動詞は文の中で、主語・目的語に密接に連携するのみならず、副詞や副詞句などとも結合しています。それを文法学習抜きで感覚的に体得させる効用が期待できます。

筆者はこれが語学学習アシスト手段として広範に役立つと期待していますが、現実には昨年JEI研究会発表会の以後の反響では、高齢者からだけ、好評でした：

「読むのが楽になった。省エネできる」

「“エスペラント読書定年”が、これで5年は延びたと思う」「今まで重要な意味の部分全部に赤線を引いてきた。だが赤線引き過ぎると却って読む気が失せる。動詞だけ、がちょうどよい加減だな」など。有難いことです。

## 第110回日本エスペラント大会

2023年10月21日（土）22日（日）

川崎市総合自治会館ほか

## 第72回関西エスペラント大会

2024年6月28日（土）29日（日）

京都市国際交流会館

## Rakontetoj el Hamburgo

### - Fino de Atomenergio en Germanio -

Mariko AOSHIMA (Germanio)

La 15an de aprilo oni malfunkciigis lastajn tri funkciitajn atomcentralojn en Germanio. Tion jam decidis antaŭ pli ol dudek jaroj tiama registaro de SPD (Socialdemokrato) - Grün (verda-partio) - koalicio. Tamen posta registaro de CDU (Kristodemokrato-partio) - FDP (liberal-demokrato) - koalicio nuligis la decidon kaj pli fortigis atomenergiecon.



ŝildo/glumarko kontraŭ atomenergio

En Marto 2011 okazis atomakcidento pro tertremo kaj sinsekva cunamo en Fukuŝima. Post tia katastrofo kontraŭversie decidis tiama kancelierino, Angela Merkel, iom post iom malfunkciigi ĉiujn atomcentralojn ĝis decembre 2022.

La invado de Rusio en Ukrainion kaŭzis energio-krizon en la tuta Eŭropo, interalie Germanio. Ĉar EU decidis ne importi gason kaj karbon de Rusio. En la fino de 2022 germana registaro decidis prokrasti malfunkciigon de la lastaj tri atomcentraloj ĝis aprilo, por energio-stabileco.



Atomcentralo en Germanio

Nun Germanio iras la ĝustan vojon por mediprotektado, se temas pri atomenergio. Tamen aliaj landoj ĉirkaŭ ni agas inverse. Ili konstruas pli da atomcentraloj. Ekzemple, Finnlando (produktas 32% da enbergieco-bezono por sia lando el atomenergio kaj planas novan konstruadon), Francio (78%), Pollando (nove planita), Slovakio (53%), Svedio (40%) kaj Ukrainio (55%). Ili pretendas ke atomenergio estas malmultekosta, pura kaj sekura energio ol karbo ktp. kaj ne ĵetas CO<sub>2</sub> en atmosferon. Oni ne diras, ke urano venas plejparte el Rusio. Tiam ni estos ĉiukaze dependa de Rusio, kiel gaso aŭ karbo! Cetere energi-dependeco de atomenergio estis 12% en Germanio ĝis antaŭ ne longe.

Ĉe ni ne mankas televidaj elsendoj pri politikaj diskutoj kun la specialistoj, ĵurnalistoj kaj politikistoj. Lastatempe troviĝas la temoj interalie pri energio-fonto, energio-stabileco kaj hejtado por domoj. Oni rekomendas varmopumpilon anstataŭ gaso, karbo aŭ ligno. Se vi loĝas en la urbo, oni povas uzi distrikto-hejtadon. Ili diskutas aŭ ja ofte disputas, tamen nenia solvo aŭ plibonigo de situacio de politikistoj. Ili pretekstas siajn erarojn...

Ĉiukaze estas granda defio por ni ĉiuj por efike hejti kaj ŝpari monon.

El “Rakontaro Genĝi”, 11-a jarcento

## 54 La Flosponto en la Songô – Yume no Uki-Fasi – (2)

源氏物語第 54 帖 夢浮橋 ゆめのうきはし (2)

*eljapanigis belmonto*

“Mia patrino estas jam sufiĉe maljuna, ne bedaŭra aĝo por forpaso, sed mi volis savi ŝin malsaniĝintan sur la vojaĝo, petpreĝante al Budho ke ŝi povu reciti sutrojn helpate de mi. Tial mi ne atente zorgis tiun virinon. Mi aŭdis la klaĉon, ke aŭ la Montodio en la profunda monto aŭ arboŝpirito trompe ŝin forlogis. Mi flegis ŝin kaj akompanis al Vono tra la Urbo, sed ŝi estis preskaŭ mortinto dum tri monatoj.

“Mi havas la junan fratinton. Ŝi fariĝis edzino de la Estro de la Gvardio, naskis filinon, kaj post lia forpaso monaĥiniĝis, naskis filinon. Kaj post la morto de tiu filino ŝi vivadis suferante de malĝojo tre longan tempon. Ĝuste tiam ŝi trovis tiun junan virinon, belan kaj puran en la figuro, preskaŭ samaĝan al sia propra filino, do ŝi ĝojis ke Avalokiteŝvaro donacis la knabinon al ŝi, kaj petegis de mi kun larmoj kaj iritiĝo, ke tiu ne mortu vane. Do poste mi mem malsupreniris al Vono en Sakamoto, kaj havis la ceremonion petpreĝi, pro kio la virino apenaŭ regajnis sian animon kaj fariĝis bonfarta.

“Sed ŝi konfesis en la malĝoja mieno, ke ĉiam ŝin kaptas malbonaj spiritoj, kiuj ne folasas ŝin, kaj ke ŝi volas vivi sub la protekto de Budho por eviti ilin. Kiel la pastro tiu decido estis tute rekomendinda, do mi lasis ŝin fariĝi monaĥino.

“Kial mi povus supozi ŝian rilaton kun vi? Okazintaĵo pri ŝi estis malofta, kion ni povos rakonti interese al aliaj homoj, sed la maljunulaj homoj timis ĝin fariĝi malbona reputacio, pro kio ni tenis silenton dum monatoj.”

La Dajŝaŭno Kavoru aŭskultis la historion

なにかしは、惜しむべき齡 (よはひ) ならねど、母の旅の空にて病重きを、助けて念仏をも心乱れずさせむと、仏を念じたてまつり思うたまへしほどに、その人のありさまはしうも見たまへずなむはべりし。事の心推 (お) しはかり思うたまふるに、天狗 (てんぐ) 木霊 (こたま) などやうのもの、あざむき率 (お) てたてまつりたりけるにや、となむ承りし。助けて京に率てたてまつりて後 (のち) も、三月 (みつぎ) ばかりは亡き人にてなむものしたまひけるを、なにかしが妹 (いもうと)、故衛門督の北の方にてはべりしが尼になりてはべるなむ、一人持ちてはべりし女子 (をむなご) を失ひて後 (のち)、月日は多く隔てはべりしかど、悲しびたへず嘆き思ひたまへはべるに、同じ年のほどと見ゆる人の、かく容貌 (かたち) いたうるはしくきよなるを見出でたてまつりて、観音 (くわんおん) の賜へる、とよろこび思ひて、この人いたづらになしたてまつらじとまどひ焦 (い) られて、泣く泣くいみじきことどもを申されしかば、後 (のち) になむ、かの坂本にみづから下 (お) りはべりて、護身 (ごしん) など仕 (つか) まつりしに、やうやう生 (い) き出でて人となりたまへりけれど、なほこの領 (らう) じたりける物の身に離れぬ心地なむする、このあしき物の妨 (さまた) げをのがれて、後 (のち) の世を思はんなど、悲しげにのたまふことどものはべりしかば、法師にては、勤 (すす) めも申しつべきことにこそはとて、まことに出家 (すけ) せしめたてまつりてしにはべる。さらに、しろしめすべきことはいかでかそらにさとりはべらん。めづらしき事のさまにもあるを、世語 (よがたり) にもしはべりぬべかりしかど、聞こえありてわづらはしかるべきことにもこそと、この老人 (おいびと) どものとかく申して、この月ごろ音なくてはべりつるになむ

さてこそあなれ、とほの聞きて、かくまでも問ひ

sama al tiu de *Kosajŝaŭ*, esploritan de ŝi. Li kredis, ke ŝi, Flosboato, jam mortis, sed ho, fakte ŝi vivis tiamaniere dume! Li estis surprizita, sentis sin kvazaŭ en sonĝo, kaj ekploris kun larmoj senkaŝe. *Kavoru* vidis sin honta kontraŭ la *soŭduo* sidanta modeste, kaj afektis senemocia. La *soŭduo* pentis, ke li faris ŝin mortinto senkoncerna al la mondo, kio sentiĝis peko kontraŭ *Kavoru*, kiu tiel profunde amis ŝin, nur afektanta sengrava.

La *soŭduo* demandis:

“La stato kaptita de malbonaj spiritoj certe havas la ligoŝon de la antaŭa mondo. Supozeble estas, ke ŝi naskiĝis en nobla familio. Ne bone kompreneble estas, je kia kulpo ŝi malparvenuis ĝis ĉi tia mizero.”

*Kavoru* respondis:

“Ŝajnas, ke ŝi havas rilaton kun la mikada familio. Mi ne decide traktis ŝin kiel mian edzinon ĉe la komenco. Mi eltrovis ŝin en la hazarda ŝanco. Mi tute ne antaŭvidis, ke ŝi falos en ĉi tiun mizeron. Jen ŝi malaperis kun nenia trajto, do oni suspektis diversmaniere, ĉu ŝi ĵetintus sin en la abismon. Sed mi aŭdis neniun certan raporton ĝis hodiaŭ. Se ŝi vivas kiel la monaĥino, mi kvietiĝas kun kontento, sed ŝia patrino malĝojas por la amata filino, tial mi volas sciigi al ŝi ĉi-fojan eltrovon. Nun mi hezitas kun la konsidero, ke tiu kontraŭos la dummonatan volon de Flosboato kaŝe vivi. Sed la amo inter la patrino kaj la filino estas ne septebila, kaj tial la patrino nepre vizitos ĉi tien, ne povonte elteni sian aspiron.”

*Kavoru* daŭrigis la parolon:

“Bonvolu kunpreni min malsupren al *Sakamoto*, spite al via maloportuneco, ke la pastro gvidas viron al virino. Nun eksciinte pri ŝi, mi ne volas lasi ŝin en la nuna stato. Mi nur volas rakonti kun ŝi dummonatajn aferojn kvazaŭ en sonĝo.”

Lian parolon kaptis la *soŭduo* malmorala:  
(daŭrigota)

出でたまへることなれど、むげに亡き人と思ひはてにし人を、さは、まことにあるにこそは、と思すほど、夢の心地してあさましければ、つつみもあへず涙ぐまれたまひぬるを、僧都の恥づかしげなるに、かくまで見ゆべきことかは、と思ひ返して、つれなくもてなしたまへど、かく思しけることをこの世には亡き人と同じやうになしたること、過(あやま)ちしたる心地して罪深ければ、

「あしき物に領(らう)ぜられたまひけむも、さるべき前(さき)の世の契りなり。思ふに、高き家の子にこそものしたまひけむ、いかなるあやまりにて、かくまではふれたまひけむにか」

と問ひ申したまへば、

「なまわかむどほりなどいふべき筋にやありけん。ここにも、もとよりわざと思ひしことにもはべらず。ものはななくて見つけそめてははべりしかど、また、いとかくまで落ちあふるべき際(きは)とは思ひたまへざりしを。めづらかに跡(あと)もなく消え失(う)せにしかば、身を投げたるにやなど、さまざまに疑ひ多くて、たしかなることはえ聞きはべらざりつるになむ。罪軽(かる)めてものすなれば、いとよしと心やすくなみづからは思ひたまへなりぬるを、母なる人なむいみじく恋ひ悲しぶなるを、かくなむ聞き出でたる、と告げ知らせまほしくはべれど、月ごろ隠させたまひける本意(ほんい)違(たが)ふやうに、もの騒がしくやはべらん。親子の中の思ひ絶えず、悲しびにたへで、とぶらひものしなどしはべりなんかし」

などのたまひて、さて、

「いと便(び)なきしるべとは思すとも、かの坂本に下(お)りたまへ。かばかり聞きて、なのめに思ひ過ぐすべくは思ひはべらざりし人なるを、夢のやうなることどもも、今だに語りあはせんとなむ思ひたまふる」

とのたまふ気色、いとあはれと思ひたまへれば、  
(続く)

## Ĉina esperantisto vizitis Japanion (2)

TAKEMORI Hirotosi (Nara)

### Vizito al la Nara Virina Universitato

La sekva vizitejo estas Nara Virina Universitato, iama Nara Virina altlernejo, kie Hasegaŭa Teru lernis. La konstruaĵo de tiu tempo restas kiel memorhalo. Feliĉe, en la tago, kiam ni vizitis, la halo estis malfermita al la publiko, do ni povis vidi la internon. S-ro Zhao trovis unu lernejanon en la memorhalo kaj diris al mi, ke mi demandu ŝin, ĉu ŝi konas Verdán Majon. Mi demandis ŝin, ĉu ŝi konas virinon nomatan Hasegaŭa Teru, kiu antaŭ ĉirkaŭ 90 jaroj studis en ĉi tiu universitato. Ŝi diris, ke ŝi ne scias. Kiam mi diris al Zhao, ke ŝi ne scias Verdán Majon, li diris al mi, ke Verda Majo estas tre fama en Ĉinio, sed multaj junuloj ne scias ŝin nuntempe.

Je la tagmanĝo, ni eksciis, ke ĉinoj havas kutimon dormeti post la tagmanĝo, do mi decidis reveni al la hotelo unufoje post la tagmanĝo. Dum tagmanĝo, s-ro Zhao diris, ke iuj legomoj similas al ĉinaj, sed la gusto estas tute alia, dum li manĝis kareon. Mi estis tre surprizita, kiam s-ino Sakate, kiu estas esploristo de Hasegaŭa Teru, kaj ĉi-foje servis kiel ĉina interpretanto, klarigis pri s-ro Zhao kaj Hasegaŭa Teru al la universitataj studentoj



Foto de  
Takemori,  
antaŭ  
memorhalo  
en Nara Virina  
Universitato

ĉirkaŭ mi. Post dormeto en la hotelo, s-ino Sakate turismis al la Templo Todaiĵi kun liaj edzino kaj fratino.

### Kunsido por interŝanĝi opiniojn

La partoprenantoj estis Terajĵima Toŝio (esperantisto, profesoro emerito de Kansai Universitato), Takemori Hirotoshi (prezidanto de Nara Esperanto-Societo), Tanabe Minoru (ĝenerala sekretario de la Societo Honori) kaj Nishida Ĉizu (Ĉina Modernhistoria Esploristo kaj esperantisto).

Nun, nia celo en ĉi tiu interŝanĝo estas:

1. Konsulto por vojaĝo al Chongqing
2. kunlaboro por la kompletaj verkoj de Hasegaŭa Teru.

1. S-ro Zhao faris kelkajn antaŭtaskojn antaŭ la kronviruso, aŭdante ke la membroj de la Societo Honori venos al Chongqing. Pro KOVIM-19, tiu plano estis ĉesigita, sed nun estas tempo, kiam en Japanio kaj Ĉinio oni povas vojaĝi tien kaj reen. Li diris, “bonvolu veni al Chongqing”. Li diris ke se ni sciigos min 15 tagojn anticipe, li lasos nin resti. Tamen, ĉar estos granda nombro da homoj, ni ne povas permesi al ili resti kiel turistoj. Ni komencu plani almenaŭ tri monatojn antaŭe. Kaj kiam s-ro Tanabe diris, ke se li iros al Chongqing, li ankaŭ volas iri al Wuhan(武漢). s-ro Zhao diris, ke se oni iros de Chongqing al Wuhan, li rekomendus iri laŭ la rivero Jangzio (長江) per boato. Ĉirkaŭ 3 tagoj. Ŝajnas, ke estas pitoreska kaj amuza. Ankaŭ la domo, kie s-ro Zhao loĝis, estis tre proksima al la loĝejo de Teru, do kiam mi montris al li mapon Baidu (ĉina serĉilo), la loĝejo de Teru estis en Shangqing-templo, Yuzhong Distrikto, Chongqing-urbo.

2. S-ro Zhao mem ne estas esploristo, sed inĝeniero pri precizaĵoj. S-ro Terajĵima demandis kelkajn homojn. S-ro Zhao konis la plimulton de la esperantistoj, sed bedaŭrinde la plimulto el ili estis forpasintaj. Tamen, kelkaj homoj ŝajnis povi kontakti.





La 110-a Japana Esperanto-Kongreso

La 21-a, 22-a de oktobro 2023

## 第110回 日本エスペラント大会

日時： 2023年10月21日（土）、22日（日）

拠点会場： 川崎市総合自治会館（JR・東急 武蔵小杉駅下車徒歩2~10分）  
川崎市中原区小杉3丁目600 コスギ サード アヴェニュー4階

主催： 一般財団法人 日本エスペラント協会 協力： 川崎エスペラント会

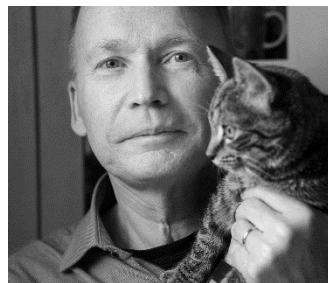
後援： 川崎市、(公財)川崎市国際交流協会、(一社)日本外国語教育推進機構 (JACTFL)  
<以下申請予定> (独)国際交流基金、日本ユネスコ国内委員会、  
(公法)日本ユネスコ協会連盟、(一社)日本ペンクラブ

大会テーマ： **Kion <Esperanto> nun revas por la mondo?**

〈エスペラント〉がいま夢見る世界は何か

### ●いまの世界と日本を知る公開講演●

- ① フィンランド、スウェーデンでジャーナリストとして活躍する Kalle Kniivilä (カッレ・クニーヴィラ)さんが、ウクライナの今についてオンラインで講演（日本語字幕付き）。質疑応答も予定しています。また、司会を務める上智大学教授 木村護郎クリストフさんが、Facebookで公開している「モスクワからの声」（モスクワ市民が見るウクライナ侵攻）を紹介します。



- ② ジャーナリストのトニー・ラズロさんと、日本外国語教育推進機構 (JACTFL) 理事の境一三さん（獨協大学特任教授、慶應義塾大学名誉教授）の講演・対談。ヨーロッパでの言語体験や日本の実情を踏まえて、エスペラントの役割を考えます。



- ③ 新進気鋭の児童文学作家・こまつあやかさんがトークショーを行います。こまつさんは、女子高校生の身体や性への戸惑い、悩みをモチーフに、エスペラント語を学ぶ高校生を登場させた『ポーチとノート』（講談社刊）の著者。「『当たり前』も『普通』も一つじゃないよ」と、多様性、多文化に目を開く楽しさについて語っていただきます。

## ●海外出身・来日エスペ란ティストも多数出演！●

- ① 長年、世界各国でエスペ란ティストとして活躍されている Mireille Grosjean (ミレーユ・グロジャン) さんが来日。母国スイスについて講演します。
- ② 新しい異文化間文芸コンクール Interkultura Novelo-Konkurso (INK)について、発起人の Stela Besenyei-Merger (ステラ・ベゼニエイ・メルゲル) さん (ハンガリー) がビデオメッセージが見られます。また、作家の間宮緑さんが解説します。
- ③ インドネシアの青年 Adam Damaro Prakasa (アダム・ダマリオ・プラカサ) さんを大会に招待します。伝統の打楽器「アングルン」について講演する予定です。
- ④ じっくり会話の練習ができる会話教室を開催します。
  - \*Paroliga Sesio (初級者向け) ……スウェーデン出身の Fanjo Kawabata (ファージョ・川端) さん、ベトナム出身の Midori Miyamae (ミドリ・宮前) さんが参加者と楽しくおしゃべりをします。
  - \*Paroliga Kurso (中級者向け) ……スイスから来日の Martine Moine (マルティエヌ・ムワン) さん、Sonia Daubercies (ソニア・ダブルシエ) さんが講師を務めます。
- ⑤ エスペ란ティスト公開入門講座は、ポーランド出身でアマチュア写真家でもある Aleksandra Watanuki (アレクサンドラ・綿貫) さんが担当します。

### 〔日程・その他番組紹介〕

最新の情報は、大会ウェブページ (<https://jek.jei.or.jp/>) をご覧ください。

#### ▼10月21日(土) (受付は10:00よりホールにて)

午前・JEI学力検定試験 (要事前申込)

午後・連続講演：木村護郎クリストフさん・Kalle Kniiviläさん

・入門講座、Interkona Vespero、分科会 ほか

#### ▼10月22日(日)

午前・大会式典、分科会ほか

午後・講演・対談：トニー・ラズロさん・<sup>さかいかずみ</sup>境一三さん

・こまつあやこさんトークショー

・分科会ほか

※このほか、1月から開催したプレ企画のまとめ番組、各地方会などで制作した動画を配信するオンライン文化祭などの番組を予定しています。

### 〔武蔵小杉駅 (川崎会場最寄り駅) へのアクセス〕

- ・東京駅からJR横須賀線で約20分／新宿駅からJR湘南新宿ラインで約20分
- ・品川駅からJR横須賀線で約10分／池袋駅から地下鉄副都心線・東急東横線で25～28分
- ・新横浜駅から東急新横浜線で約15分／川崎駅からJR南武線で9～12分
- ・成田空港駅から成田エクスプレスで約80分／羽田空港からリムジンバスで約60分

## ◆大会参加費（7月末までのお申し込みがお得です。）

（単位は円）

大会参加費		7月末	8月～	備考
A1	大人（基本）	4,000	5,000	人数制限あり
A2	大人（オンライン限定）	2,000	3,000	川崎会場への入場不可
A3	大人（不在参加）	2,000	3,000	大会冊子等にお名前を記載
B1	障がい者	2,000	3,000	
B2	青年（25～34歳）	2,000	3,000	1988/4/2～1998/4/1生まれ
B3	青年（18～24歳）	1,000		1998/4/2～2005/4/1生まれ
B4	来日旅行者	1,000		
C1	青少年（17歳以下）	無料		2005/4/2以降生まれ
C2	海外から（オンライン限定）	無料		
C3	地域市民（川崎会場限定）	無料		

- ・大会参加費は、主催者の責に帰すべき事由による開催中止の場合を除き、原則として払い戻しはいたしません。
- ・A2・A3で申し込み済みで、A1（川崎会場での参加）への変更を希望される方は、申し込み締め切りまでに大会事務局までお問い合わせください。可能な場合は対応いたします。
- ・今回の大会では、大会記念品は用意しておりません。
- ・大会1日目に、川崎会場でJEI学力検定試験を実施します。（申し込み締め切り 10月7日（土）  
10月21日（土）10:00～12:45（筆記試験から行い、終了後に会話試験を実施）  
検定試験の詳細は、日本エスぺラント協会のウェブページをご覧ください。受験料は大会参加費と一緒に振り込むこともできます。（大会に参加せず検定試験のみの受験も可）  
（受験料：1級 6,000円， 2級 4,500円， 3級 3,000円， 4級 1,500円）

## ◆申し込み方法（申し込み締め切り 10月7日（土））

参加費ほかを下記の口座にお支払いください。

あわせて、申し込み必要事項（金額の内訳、ローマ字のお名前、連絡先）を「ウェブページの申し込みフォーム」または「振替用紙通信欄」にて必ずお知らせください。

ゆうちょ銀行振替口座 郵便振替 00130-4-744162 日本エスぺラント大会A

[ゆうちょ銀行以外の金融機関から送金する場合]

ゆうちょ銀行 ○一九支店 当座 744162 日本エスぺラント大会A

入金確認後1～3週間のあいだに、メールにて（メールアドレスのない方のみハガキで）申込確認書（Konfirmilo）をお送りします。

[連絡先] 日本エスぺラント大会事務局

162-0042 東京都新宿区早稲田 12-3 一般財団法人日本エスぺラント協会内

TEL：03-3203-4581 FAX：03-3203-4582

大会ウェブページ（日本語）：<https://jek.jei.or.jp/ja/>

（お問い合わせは、ウェブページ内のフォームよりお願いいたします。）



# La 110-a Japana Esperanto-Kongreso

**Dato: la 21-a, 22-a de oktobro 2023**

**Ĉefa Kongresejo:** Kawasaki-shi Sogo Jichi-kaikan  
en Urbo Kawasaki, Gubernio Kanagawa

**Kongresa Temo: "Kion ‹Esperanto› nun revas por la mondo?"**

Nia ĉefa kongresejo estas en Kawasaki, urbego situanta inter Tokio kaj Jokohamo. Sed la kongresanoj ne devas viziti la kongresejon. Ili povos rete partopreni estante eĉ en sia hejmo.

Anstataŭ jam kutima tri-taga kongreso ni havos kompaktan du-tagan kongreson. Ni tamen kompensas la perditan tempon pli ol sufiĉe per retaj antaŭkongresaj eventoj. Unu el ili fakte jam komenciĝis en januaro. Temas serio de rondtabla diskuto pri la kongresa temo: "Kion ‹Esperanto› nun revas por la mondo?".

Lastatempe ni informiĝis pri artefarita intelekto, kiu "parolas" Esperanton. La teknologio pri maŝintradukado kaj aŭtomata interpretado plu progresas. Ĉu la lingvaj baroj de mil jaroj eble dissaltos en proksima estonteco? Do, kian ekzistokialon tiam havos nia lingvo de espero? Jen brule prema demando.

Vi certe vidas, ke la 110-a JEK estos plursence epokfara. Ĉu ne indas, ke vi kontribuu al ĝia sukceso?

**Programeroj :** Rete prelegos finna esperantisto Kalle Kniivilä el Svedio sub la titolo "Lando kiu vekigis - Kial Ukrainio ne estas Rusio?". Post lia prelego prof. Kimura Goro Christof el Japanio interparolos kun li per Zoom. Prof. Kimura regule aperigas mesaĝojn de iu rusa esperantisto en Esperanto kaj en la japana per fejsbuko ekde kiam la milito ekis, kun la titolo "Haltigu la mondomiliton".

Krome prelegos s-ino Mireille Grosjean el Svislando, Adam Damario Prakasa el Indonezio, ktp.

Pri novaj informoj vizitu la retejon "<https://jek.jei.or.jp/>".

**Kotizoj [limdato de aliĝo: la 7-a de oktobro]**

**Senpage:** por reta partopreno el eksterlando

**1 000 JPY :** por vojaĝanto al Japanio el eksterlando

Pri ceteraj kotizoj (por loĝanto en Japanio) demandu al Japana Esperanto-Instituto (Vizitu retejon <https://jek.jei.or.jp/> por aliĝi.)

---

Pri detaloj havu kontakton kun Japana Esperanto-Instituto

/ JP-162-0042 Tôkyô-to Sinzyuku-ku Waseda-mati 12-3

telefono: +81-3-3203-4581, retejo: <https://jek.jei.or.jp/>

\*Vi povas sendi mesaĝojn per demando-formularo en la retejo.



## KLEG賞受賞

### KLEG 事務局員の 10 年間

大西 真一（滋賀県）

本誌 2012 年 7 月号に掲載された「事務局員募集」の記事に応募して採用され、同年 8 月に先輩から業務内容の説明を受け、以来 2022 年 12 月までの 10 年余、当直をさせていただいた。そのことについて、第 71 回関西エスペラント大会の開会式席上で KLEG 賞をいただいた。さらに小文を書く機会を与えていただけたことになった。

事務局員は、日常の事務以外に、それぞれ会計や会員管理、図書管理などの業務を担当する。私の担当は、図書管理であった。図書管理の主な仕事は、図書棚の整理整頓や仕入れ・売上の図書係への定期的なデータ提供である。

私の在籍期間中に、1) 会員管理や図書管理のデータベースが紙からコンピュータに、2) 郵便振替の郵便局からの連絡が紙から電子データに、3) 本誌の発送が郵便局の収集から、郵便局への持ち込みへ変わった。本誌の発送作業は土曜日に行われるから、郵便局への持ち込みは月曜日になることが多い。私は月曜日の当直なので、郵便局への運搬は重要な仕事になった。

私の入所当時、事務所でのデータは、紙とコンピュータ両方で管理されていた。図書や会員のリストは、Excel にも入力されていたが、主は紙ベースであった。しかし、データ用カードを発売していたメーカーが製造中止することとなったため、コンピュータへの移行が必至の課題となった。そのための準備にも着手されていた。事実開発途中の Access ファイルもコンピュータには存在していた。しかし、事務局員には Access はなじみが薄いこと、Excel でも可能な程度のデータ量であることから、Excel でデータベースを構築することとなった。パソコンの買い替え、OS や Excel のバージョンアップに耐えられるか？また Excel 特有のデータ制限の甘さからくる異常の発生など、不安を抱えての船出となった。しかし、今日まで 10 年足らずの間、大きなトラブルもなくシステムは稼働を続けている。定年退職後に職業訓練で受講した「データベースマネジメント」を、この「データベースもどき」作成に活かしたのは、私にとって幸運なことであった。

## KLEG奨学金

### 日本エスペラント図書刊行会を担当して

染川 隆俊（大阪府）

KLEG 奨学金を賜りましたこと、感謝申し上げます。関西エスペラント連盟の図書部門である日本エスペラント図書刊行会（Japanan Esperanta Librokooperativo、以下 JELK）における出版活動を評価いただき、光栄です。

JELK（当時は「日本エスペラント書協同組合」）の設立は 1952 年です。本誌は「われわれ自身の手で共同出資により出版組合を作り、『一年に一冊以上の活版本を』送り出すことをモットーとして、運動を一步前進させたい」と決意を述べ、参画を呼びかけました。2 月の設立総会に持ちよられた一口 100 円の出資金は 2 万 5 千円に達し、半年後には目標額 5 万円を超えます。多くの人びとが JELK に期待を寄せたことがうかがえます（ちなみに当時の本誌の頒価は 15 円、コーヒー 30 円、映画館 120 円の時代です）。

長田新編『原爆の子』の抄訳“Infanoj de l' atombombo”を皮切りに、JELK は間断なく図書の刊行をつづけてきました。多数のエスペランチストを育てた“La teksto unua”、“La Unua Kursolibro”などの学習書、全 6 巻におよぶエロシェンコ著作集、夏目漱石、芥川龍之介、太宰治、宮沢賢治らの翻訳書など JELK の出版活動はエスペラント文化をより豊かなものとすることに貢献してきたと確信します。この活動の末尾に名を連ねる重責を自覚し、峰芳隆前部長をはじめとする諸先輩の歩みに学び、「運動を一步前進させ」る決意を新たにしています。

新刊の『デルヴォーの知覚』はベルギーのエスペランチストとの共働の成果です。関西大会の記念品“Studoj pri la Esperanta literaturo”は、もはや古典ともいえるエスペラント文学論の再刊です。このように新しい試みとともに、文化的蓄積を大切にすることが欠かせないと考えます。

出版をとりまく状況は楽観できるものではありません。エスペランチストの高齢化は著しく、読書人口の減少は否めません。しかし良書を求めるひとは絶えないはず。JELK の活動はこれからもつづきます。みなさまのお力添えをお願いいたします。

## Songoj dum Dek Noktoj (8)

NATUME Sôseki, trad. OKI Keimei

### La kvara nokto (daŭrigita)

La infanoj fervore rigardis ĝin. Ankaŭ mi rigardis ĝin.

“Rigardu, rigardu! Ĉu vi estas pretaj?” Li diris tiel kaj blovante la fluton ekpaŝis sur la linio de la strekita cirklo. Mi koncentris mian atenton nur sur la viŝtuko, sed ĝi neniam moviĝis.

Li blovis la fluton kaj multfoje paŝis sur la linio de la cirklo. Li, piedpinte kun la vestitaj pajlaj piedvestoj, paŝis kvazaŭ ŝtelpaŝe, kvazaŭ modeste zorgante pri la viŝtuko. Tia movo ŝajnis farita kun timo aŭ kun komika gesto.

Baldaŭ li tute ĉesis blovi, malfermis la kovrilon de la skatolo pendanta de la ŝultro kaj, pinĉante ĉe la kolo de la viŝtuko-serpento, enĵetis ĝin en la skatolon.

“Dum ĝi estas tiel lasita, ĝi fariĝos serpento en la skatolo. Iam poste mi montros ĝin al vi. Iam poste!” dirante tiel, li rekte ekpaŝis. Li pasis sub la foliaro de la saliko kaj rekte malsupreniris sur malvasta vojo. Mi sekvis lin ĝis la fino de la vojo, ĉar mi volis rigardi la serpenton. De tempo al tempo li diris, aŭ ke ĝi baldaŭ fariĝos serpento, aŭ ke ĝi ŝanĝos sin en serpenton, kaj paŝis.

“Baldaŭ ĝi fariĝos, fariĝos serpento.

Certe fariĝos. Fluto soniĝos.”

Fine, tiel kantante la kanton, li atingis la bordon de la rivero.

Mi konjektis ke li ripozos ĉi tie kaj montros al mi la serpenton en la skatolo, ĉar troviĝis nek ponto nek boato. Sed li senhezite ekeniris en la riveron. Unue mi povis vidi lian figuron ĝis la genuoj, sed lia korpo iom post iom trempiĝis en la akvo, jen ĝis la talio, jen ĝis la brusto, kaj ili ne videblis, sed li kantante paŝis rekte malproksimen en la rivero:

“Profundiĝos, vesperiĝos, rektiĝos.”

Kaj liaj vang- kaj lip-haroj kaj barbo kaj  
2023.08

## 夢十夜 (8)

夏目 漱石

### 第四夜 (承前)

子供は一生懸命に手拭を見ていた。自分も見ていた。

「見ておろう、見ておろう、好いか」と云いながら爺さんが笛を吹いて、輪の上をぐるぐる廻り出した。自分は手拭ばかり見ていた。けれども手拭はいつでも動かなかった。

爺さんは笛をびいびい吹いた。そうして輪の上を何遍も廻った。草鞋(わらじ)を爪立(つまだ)てるように、拔足をするように、手拭に遠慮をするように、廻った。怖(こわ)そうにも見えた。面白そうにもあった。

やがて爺さんは笛をぴたりとやめた。そうして、肩に掛けた箱の口を開けて、手拭の首を、ちよいと撮(つま)んで、ぽっと放(ほう)り込(こ)りんだ。

「こうしておくで、箱の中で蛇(へび)になる。今に見せてやる。今に見せてやる」と云いながら、爺さんが真直に歩き出した。柳の下を抜けて、細い路を真直に下りて行った。自分は蛇が見たいから、細い道をどこまでも追(つ)いて行った。爺さんは時々「今になる」と云ったり、「蛇になる」と云ったりして歩いて行く。しまいには、

「今になる、蛇になる、

きつとなる、笛が鳴る」

と唄(うた)いながら、とうとう河の岸へ出た。橋も舟もないから、ここで休んで箱の中の蛇を見せるだろうと思っていると、爺さんはざぶざぶ河の中へ這入(はい)り出した。始めは膝(ひざ)くらいの深さであったが、だんだん腰から、胸の方まで水に浸(つか)って見えなくなる。それでも爺さんは

「深くなる、夜になる、

真直になる」

と唄いながら、どこまでも真直に歩いて行った。

lia vizaĝo kaj lia kapo kaj lia kufo, ili ĉiuj malaperis en la akvon.

Mi konjentis, ke li baldaŭ aperos sur la kontraŭa bordo de la rivero kaj montros al mi la serpenton, kaj, starante sola ĉe kanoj susurantaj, longe atendis lin aperi tie. Sed li neniam aperigis sian figuron.

そうして髯(ひげ)も顔も頭も頭巾(ずきん)もまるで見えなくなりました。

自分は爺さんが向岸(むこうぎし)へ上がった時に、蛇を見せるだろうと思って、蘆(あし)の鳴る所に立って、たった一人いつまでも待っていた。けれども爺さんは、とうとう上がって来なかった。



## Dekanŝo (丹波篠山民謡デカンショ節)

popolkanto de Tanba-Sasajama, trad. SIMATANI Takesi

1) De - kan - ŝo - o, de - kan - ŝo - o en du -  
 2) En Tan - ba - a - Sa - sa - ja - ma vi - vas  
 o - no de l' ja - ro, Jo - oj jo - oj. Kaj dor - mas  
 mul - taj si - mi - oj. Jo - oj jo - oj. En E - do  
 ni en du - o - no de la ja - ro. Jo - o - oj  
 i - li la - bo - ras en te - a - troj. Jo - o - oj  
 jo - o - oj de - ka - an - ŝo.  
 jo - o - oj de - ka - an - ŝo.

### デカンショ節

丹波篠山民謡

- 1) デカンショデカンショで半年暮らす ヨイヨイ  
あとの半年ねて暮らす ヨーオイ ヨーオイ デッカカンショ
  - 2) 丹波篠山山家の猿が ヨイヨイ  
花のお江戸で芝居する ヨーオイ ヨーオイ デッカカンショ
  - 3) 酒は飲み飲み茶釜でわかせる ヨイヨイ  
お神酒あがらぬ神はなし ヨーオイ ヨーオイ デッカカンショ
  - 4) 灘のお酒はどなたが造る ヨイヨイ  
おらが自慢の丹波杜氏 ヨーオイ ヨーオイ デッカカンショ
  - 5) 雪がちらちら丹波の宿に ヨイヨイ  
猪がとびこむ牡丹鍋 ヨーオイ ヨーオイ デッカカンショ
  - 6) 丹波篠山鳳鳴の塾で ヨイヨイ  
文武きたえし美少年 ヨーオイ ヨーオイ デッカカンショ
- \* デカンショ : 1) ドッコイショ、2) 出稼ぎ

### Dekanŝo

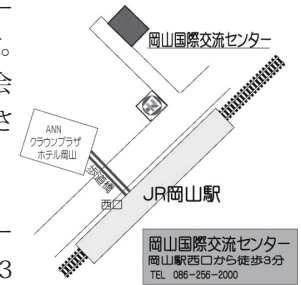
popolkanto de Tanba-Sasajama, trad. SIMATANI Takesi

- 1) *Dekanŝo, dekanŝo* en duono de l' jaro. *Joj joj.*  
Kaj dormas ni en duono de la jaro. *Joj joj dekanŝo.*
  - 2) En Tanba-Sasajama vivas multaj simioj. *Joj joj*  
En Edo ili laboras en teatroj. *Joj joj dekanŝo.*
  - 3) Sakeon ni trinku el varmigita kaldrono. *Joj joj.*  
Al Dio plaĉas sakeo kun aromo. *Joj joj dekanŝo.*
  - 4) Sakeon de Nada oni faras en vintro. *Joj joj.*  
Laboras viroj el Tanba ĉe bareloj. *Joj joj dekanŝo.*
  - 5) En Tanba faladas neĝflokoj sur la gastejoj. *Joj joj.*  
Apraĵon frandu el kaserolo. *Joj joj dekanŝo.*
  - 6) En Tanba-Sasajama estas bonaj lernejoj. *Joj joj.*  
Junuloj lertas en sportoj kaj sciencoj. *Joj joj dekanŝo.*
- \*Dekanŝo: 1) interjekcio. 2) elmigri por sezona laboro.



## 中四国エスペラント大会 2023 は 10月1日岡山国際交流センターで

岡山エスペラント会 福井 政春



大会テーマ 希望をさがそう Ni trovu esperon. エスペラントで出来ること、エスペラントでやりたいこと、伝えたいこと、希望を持ってさがしましょうか。

### 大会プログラム 10月1日(日)

8:30 受付 (Akceptado)

9:00 開会式 (Inaŭguro)

### 午前の部 9:30 ~ 12:00

1. 切明さんの伝承講話 忍岡妙子 (広島エスペラント会)
2. 高知観光の穴場 鍋島博之(高知エスペラント会) (Kelkaj lokoj kiujn turistoj malofte vizitas)
3. Ni kantu
4. 写真撮影 1 回目 (Foto 1-a)

エスペラント検定試験 (Ekzameno 3、4 級) 10:00 ~ 11:30

### 昼食 (Tagmanĝo) 12:00

### 午後の部 13:00 ~ 15:00

1. 午後の部開催に当たって (Zoom 参加者のための案内等含む)
2. 書道パフォーマンス (中四国大会のステージ看板作成にあたりエスペラントで解説) ロンド・クラエス (岡山エスペラント会) 貝原佐奈 (岡山大学 3 年) (15 分)
3. 山陽学園高校エスペラント同好会の発表 柴田美和先生 (山陽学園顧問) 他 生徒達 (25 分)
4. 岡山県牛窓伝説の紹介 ロンド・クラエス (岡山エスペラント会) 中井美羽、行武瞳 (岡山大学 1 年生) 新人 (20 分)
5. エスペラントで作曲発表 (仮) ロンド・クラエス 新人 (10 分)
6. インドネシアのエスペラント運動について イリアさん (インドネシア) (30 分)
7. 写真撮影 2 回目 (Foto 2-a)

スマホを使うとエスペラントが近くなる (ズームと仲良くなる) 13:00 ~ 14:00

15:00 ~ 15:30 参加者交流会 (Interkonatiĝo)

15:30 ~ 15:50 閉会式 (Ferma ceremonio)

16:00 終了 (Fino)

2023.08

※ 13:00 ~ 15:50 はズームでの配信もいたします。ズーム参加者の方も大会 HP からお申込みください。

### 会場

岡山国際交流センター (岡山駅西口から徒歩 3 分)

参加費 3,000 円 (当日会場にて)。学生、高校生、未成年は無料

Zoom 参加 無料

### 大会前日【9月30日(土)】について

希望者の集まりにはなりますが、1. 原田文学館訪問、2. バンケードの2つを用意しております。

1 は 13:30JR 鴨方駅集合となります。

2 は 18:00 現地集合となります。場所は中四国大会の会場でもある「国際交流センター」(岡山駅西口から徒歩 3 分)。会費は 4500 円。(詳しくは 中四国エスペラント大会の HP よりご覧ください)

大会および、前日について

はスマホで右の QR コードからお入りください。

地図などより詳しい情報がわかります (パソコンの方は [www.esperanto.unueca.net/?page\\_id=13](http://www.esperanto.unueca.net/?page_id=13) でお願ひします)。

申し込みも中四国大会の HP からできます。

中四国大会の HP は大会が近づくに合わせて適宜更新する予定です。

Zoom の参加も受け付けております (無料です)。

Zoom 配信は 10月1日の 13:00 ~ 15:50 の予定)。

封書での申し込みもできます。その場合は

〒710-0016 岡山県倉敷市中庄 3158-1 ノープルコート 中庄 801 福井政春 気付 中四国エスペラント大会事務局 までお願いします。

是非中四国エスペラント大会 2023 に参加下さい!



## EPA 創立 100 周年記念行事、9月17日

### ザメンホフのひ孫マルガレータさん講演

EPA (エスペラント普及会) 創立 100 周年記念行事で行われるマルガレータ・ザレスキ・ザメンホフさんの記念講演「エスペラントとザメンホフ一家」(9月17日《日》15時半～17時 EPA 主催、JEI 後援)は以下の URL から YouTube でライブ配信されます。

どなたでも無料で視聴できますので、ぜひご覧ください。

URL : <https://youtube.com/live/gQIomzr5Cbs>

右の QR コードからもアクセス可能です。



Memorprelego en EPA 100  
EPA創立100周年記念講話

“Esperanto kaj familio Zamenhof”  
**エスペラントとザメンホフ一家**

Prof. Margaret Zaleski-Zamenhof  
講師：マルガレータ・ザレスキ・ザメンホフ

日本語通訳あり 2023.9.17 15:30～17:00

主催：エスペラント普及会 (EPA) / 後援：日本エスペラント協会 (JEI) / Organizaĵo Esperanto-Popularigas Asocio / Anspicanto: Japania Esperanto-Instituto

### 第 72 回関西エスペラント大会は京都で

開催日：2024 年 6 月 29 日・30 日 (土・日)

会場：京都市国際交流会館

大会テーマ：共生こそ平和への道

公開コンサート：あおい苑の皆さんと、シンガー

ソングライター野田淳子さん

公開講演：尾藤廣喜弁護士「世界と日本の貧困問題」

## 吹田エスペラント会総会報告

吹田エスペラント会は、6月7日(水) 20時～21時に初めてオンライン(スカイプ)による総会を行った。参加者5人、委任6人。日中の場所が決めにくく、夜のいつもの学習の時間帯での総会開催となった。総会には学習時のメンバー以外の参加者もあった思ったが、結局は学習時のメンバーだけの総会となった。

2022 年度の活動報告・決算報告、2023 年度の活動方針・予算案、役員改選で、決算報告、予算案は承認。今年度の活動では、文化祭や12月の北摂ザメンホフ祭の担当エスペラント会として日にち、場所の相談を行った。また、役員改選では、会長が矢野義男さんから矢吹あさ彙さんにかわった。他は留任。

[←大畑 賀代子]

### 訃報：木村 英二(きむら えいじ)さん

5月5日死去、91歳、老衰による。KLEG 賞受賞。神戸エスペラント会名誉会長。長年、神戸エスペラント会の会長、会誌編集の仕事を続けた。最近は何回出席は途絶えていた。1982年、学位取得、医学博士(博士論文「風疹の疫学的研究」)。1987年、兵庫県衛生研究所(現、兵庫県立健康科学研究所)時代、日本で最初のエイズ患者の判定をした。

### 訃報：中道 光子(なかもみち みつこ)さん

6月27日、間質性肺炎で死去。77歳。1970年より神戸エスペラント会会員。一時期 KLEG 事務所の当直を担った。

### Kurantaj Vortoj

エコサイド(大規模環境破壊) ekocido  
爆縮 implodo

## kultura heredaĵo

tradukita al Esperanto

忘らるる  
身をば思はず  
ちかひてし  
人のいのちの  
惜しくもあるかな

## 小倉百人一首 Cent Versis Utaon

tradukis SIMATANI Takesi

Ne gravas, ke mi  
favoron perdis vian.  
Mi nur bedaŭras,  
perdiĝos via vivo,  
pro kiu ĵuris vi jam.

(38 右近)

(Ukon)

2023.08

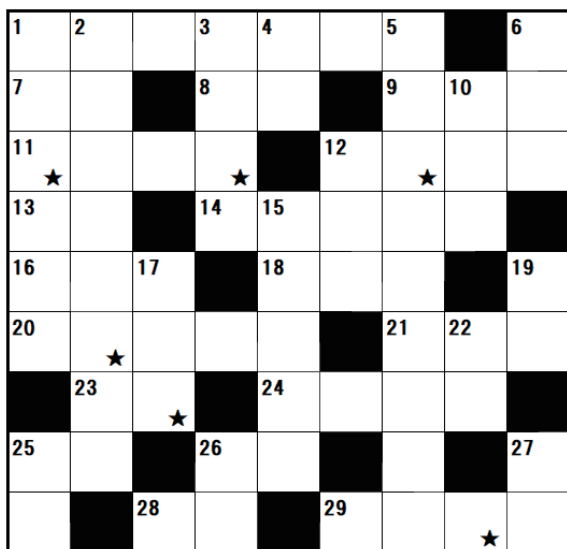
# Vortkruca enigmo

anonimulo

Vicigu adekvatan 6 literojn trovitajn en la kvardratetoj kun steleto. Tiam vi akiros la nomon de la sezono, post kiu okazos japana esperanta kongreso..

Sendu la trovitan vorton kiel solvon de la enigmo ĝis la 20-a de aŭgusto, paperpoŝte al la oficejo de KLEG, aŭ retroŝte al <lamovado@gmail.com>.

Rimarko: multaj vortoj estas sen finaĵo, sed vortoj kun (f) portas finaĵon.



**Horizontale:** 1. Tohuon spici per radiko de ~o. 7. tri estas du~o de ses. 8. Ŝi estis virino de meza ~o. 9. narkota substanco. 11. mentoj plenigis ĉion per sia bon~o. 12. mara krustulo kun pinĉiloj. 13. Ha ~! 14. Post ~o venas saĝo<sup>z</sup>. 16. iu ne menciita persono. 18. Mi ~as la fabelon. 20. unua libro el Malnova Testamento 21. ~o por parolado. 23. multaj animaloj estas en ~o. 24. ~i amason kontraŭ reĝo. 25. adverbo signifanta "en la loko mem". 26. krajono estas skrib~o. 28. Ha ~! 29. Faruno, knedita kun akvo aŭ lakto, por fari panon aŭ kukon.

2023.08

**Vertikale:** 1. ~o: animala sciencisto. 2. ŝtato konsistanta el insuloj Borneo, Javo k.a. 3. zorgi, ke ies vivo ne venu danĝeron. 4. akr~i, kun~i, edz~i. 5. Musset estas la plej tipa ~ verkisto. (f) 6. Oni ~is kaj koleris pro la agreso. 10. en la esperanta sumoo, mi legis tri ~ojn potage. 12. unuo de elektra rezistanco. (f) 15. plurjara herbo kun acidetaj folioj kaj tigoj. molekula formulo de ~ata acido estas HOOC-COOH. 17. fil~, belul~, amat~. (f) 19. ~u viajn malamikojn. 22. sufikso esprimanta malgrandecon. 25. ~ vi estas sana? 26. mi iam renkontis vin ~. 27. la libro estas traduk~a de Zamenhof.

## La solvo al la junia enigmo: DENTISTO

La ĝustan solvon donis 12 legantoj:

CA,

Sayuri,

TADA,

松川 まきこ,

本田 照美,

濱田 國貞,

にし のりこ,

平井 倭佐子,

島津 泰子,

武藤 たつこ,

水渡 篤子

Kacu



## 楽しい作文教室 (144) 成績

11人の方から応募がありました。( )内は留意事項です。

うん、良いね: Lumo, Celejo, ikona ( ③ kaj 後の主語 ), CA.

良いね: yosie ( ③ konkrudo), Drako ( ② koncedia ④ pri の用法), Eiko ( ① difekto), Ivajo (②主動詞は?), はるちゃん(①対格は?), Haveno ( ①③ anbaŭ), Jasuko ( ①③ anbaŭ)。

## Mikspoto (当欄は敬称略)

★ SukeraSparo は、純百合 ADV「ことのはアムリラート」から派生した異世界語学アプリ「ことのはレルナード」制作の支援を募るプロジェクトを、4月21日から6月12日(エスペラントの日)まで、クラウドファンディングサービス「ソレオス」で実施した。6月9日(金)は連携イベントが YouTube で無料配信。木村護郎クリストフ教授が、声優の Yukari さんを生徒役に 20 分のエスペラント講座を行った (<https://www.youtube.com/live/M5pOHxHqD-I?feature=share>)。

[←堀田 裕彦、北川 郁子]

★大和郡山市役所交流棟「みりお〜の」が7月18日(火)にオープンする。「みりお〜の (miliono)」とは、国際補助言語として使われている『エスペラント語』で『百万』の意味で豊臣秀長が大和・紀伊・和泉 100 万石を統治していた時、郡山城を居城としていた事に由来します」とのこと。

★6月11日付毎日新聞「余録」に、9月10日まで東京国立美術館で中村彝(つね)「エロシエンコ氏の像」が展示されていると。「ウクライナ系の作家、ワシリー・エロシエンコ(1890~1952年)だ。帝政時代のロシアに生まれ、幼少時に失明した。エスペラント語を学び、日本に関心を抱き来日し、童話などの創作や講演活動に携わった」と。さらに、

### 楽しい作文教室 10月号課題 (8月20日締切)

- ①多数派は勝手に議場を変え編入を決議した。
  - ②そのような決議に反対派が従うはずはない。
  - ③村は意見を統一できず二分される事になった。
  - ④村の一部は市に編入され残りは町と合併した。
- (ヒント) 勝手に arbitre、統一する unuigi ion. sia, resolucio を調べましょう。  
日本語の原文の内容が、相手にはっきり伝わるように考えて訳してください。

送付先:

[郵送] 〒 674-0092 明石市二見町東二見 515-1-811 塚本 猛

[電子メール] c\_tak@esperanto.ne.jp  
(件名に「作文」の文字を入れてください)  
添削は受け付けておりませんのでご了承ください。

ロシアの戦争犯罪に苦しむウクライナの「キーウ市議会は、旧ソ連のスパイ、リヒャルト・ゾルゲの名を冠した『ゾルゲ通り』を『エロシエンコ通り』に改めることを決めた」ことにも言及している。

[←大西 真一、後藤 斉、他]

★グローバルボイスというサイトにエスペラント書籍の紹介記事 (<https://jp.globalvoices.org/2023/06/18/61525/>)。「エスペラント・グローバルボイスの翻訳マネージャー、ヘルマン・デクーニク(エスペラント、英語)は、フランス語・オランダ語の二か国語で書かれたジャン・ジョニオー作の小説『デルヴォーの知覚 ( Perception de Delvaux )』の翻訳に参加した。作家のジャン・ジョニオーは国際ペンベルギー・フランス語センター、ペンクラブ・ベルジックの会長である。2018年に出版(フランス)されたこの小説はベルギーのシント・イデスバルドにあるデルヴォー美術館を訪れた日本人観光客が呼び起こした予想外のできごとを回想する内容だ。本書は日本語とエスペラントの対訳として日本エスペラント図書刊行会が出版し、デクーニクはエスペラントへの翻訳を担当した」と。本誌図書広告欄参照。 [← Maki SANO、後藤 斉]

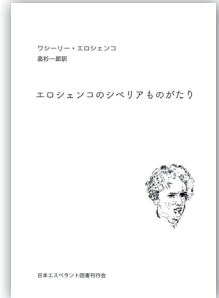
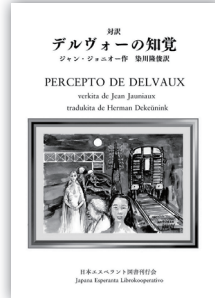
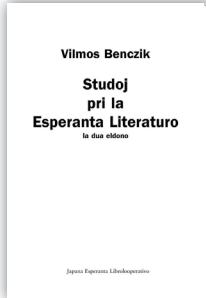
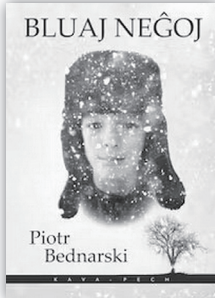
★野本三吉『水滴の自叙伝: コミューン、寿町、沖繩を生きて』(現代書館、2023年)にエスペラントに関する記述。「世界共通語であるエスペラントの存在を知り、エスペラントを学ぶことにした。情報を調べ東京お茶の水のエスペラント協会の教室に通うことにした」等と。 [←谷川 弘]

### KLEG 事務局だより

★ KLEG は「2023 年度活動年鑑」を発行しました。これは、当連盟の団体会員(加盟ロンドの正会員)と個人会員に配布されます。新たに入会した会員にもその都度配布されますので、該当するロンドは、事務局まで申し出てください。

### KLEG 後援会へのご寄付 (2023年5-6月、敬称略)

匿名	5,000 円
伊藤 照子	1,200 円
岸田 準二	600 円
桜井 信夫	200 円
ご支援、ありがとうございます。	



## ★ 新刊・新着 ★

**Bluaj neĝoj** 1900円  
抑圧的な体制下、一家はシベリアの収容所に送られ、少年がただ一人生き残る。著者 Piotr Bednarski の体験を踏まえた作品。A5判、125p.

**Studoj pri la Esperanta literaturo** 1200円  
Benczik による文学論の新版(初版 La Kritikanto、1980年)。バギー、オールド、サドラーらを論じ、エスペラント文学を展望。日本エスペラント図書刊行会発行。A5判、172p.

**デルヴォーの知覚** 500円  
ポール・デルヴォーはシュールレアリスムの画家。その絵画をテーマとするベルギーの作家ジャン・ジョニオーの短編をエス日対訳で。日本エスペラント図書刊行会発行。A5判、23p.

## ★ 小西岳の訳で読む日本文学 ★

**Postmilita Japania Antologio** 1500円  
戦後日本文学選集(小田切秀雄解説)。小西訳は安部公房「闖入者」、野坂昭如「火垂るの墓」。

**Kuru, Melos!** 350円  
太宰治「走れメロス」。原作テキスト付き。

**Nokto de la Galaksia Fervojo** 1000円  
宮沢賢治「銀河鉄道の夜」「グスコープドリの伝記」「シグナルとシグナレス」など全5編。

## ★ 日本エスペラント図書刊行会の本 ★

**エロシェンコのシベリアものがたり** 800円  
高杉一郎が翻訳したエロシェンコのシベリア体験にもとづく4作品。うち「チェスの三手詰め問題」は記者没後に原稿が発見され、初出となる。

**Hoodjooki** 400円  
鴨長明『方丈記』(野原休一訳、初版はエスペラント研究社、1936年)。災厄がつづく時代を生き長明の無常観・厭世観はいまに通じる。

**La pordego** 1200円  
崖下の暗い家でひっそりと暮らす宗助と御米。犯した〈罪〉は二人をとらえて離さない。夏目漱石円熟期の小説『門』(土居智江子訳)。

**Lingvo Stilo Formo** 1000円  
Kalocsay によるエスペラント論集の増補復刻版(原版は1970年ピラート社刊)。“Esperanta vortfarado” “La evoluo de nia poezia lingvo” など。

## ★ 再入荷 ★

**Kredu min, sinjorino!** 2100円  
**Sekreta taglibro** 1600円

ご注文は郵便、ファクス、電子メールで。送料は実費。現品と一緒に請求書を送ります。支払いは振替口座で。

## 編集ノート



★7月号掲載の「村の鍛冶屋」の楽譜の下の歌詞を訂正します。エスペラントの曲名 Festo de Vilaĝo は、Forĝisto de Vilaĝo です。また、4) の deligentaj tagoj は、diligentaj tagoj です。

★「日の光の下を歩けない」という『鬼滅の刃』の鬼舞辻無惨に共感する季節です。(島谷剛)

編集部宛連絡・投稿は <lamovado@gmail.com> へ

発行所：ラ・モバード社 編集：相川節子 発行人：染川隆俊 定価280円 送料63円 1年3800円 送料共本  
局：一般社団法人 関西エスペラント連盟内 561-0802 豊中市曾根東町1-11-46-204  
電話(06)6841-1928 ファクス専用(06)6841-1955 電子メール：esperanto@kleg.org  
振替口座 00960-1-60436 「一般社団法人 関西エスペラント連盟」 ホームページ：http://www.kleg.org  
九州支局：九州エスペラント連盟内 859-0407 長崎県諫早市多良見町シーサイド2-190 盛脇保昌方 電話(0957)43-4352  
中国・四国支局：中国・四国エスペラント連盟内 763-0063 香川県丸亀市新浜町2-4-18 小阪清行方 電話(0877)22-4771